



こんにちは！ 設計部の伊藤遼河です。今年で入社3年目です。業務内容は製作図、3DCADのモデル、及び電気図面の作成等です。我が家の家族を紹介させていただきます。写真のみどり亀です。彼(?)との出会いは10数年前ですが、初めは10cmにも満たなかったのに今では30cmに手が届く程になっています。亀は万年と言いますが、ガメラ級になるにはあと何年お世話をすればいいのでしょうか？ 玄関の小さい水槽の中で飼っているのが窮屈な想いをさせてしまっていますが、毎日水槽の中を元気に動き回っています。先日頑張って水槽から出ようとして遂に水槽をひっくり返し玄関を水浸しにしてくれました。片付けは大変でしたが、動き回っている姿を見るとつい微笑ましく思えてしまいます。早くガメラになればよ...それでは今月の熱技術ニューススタートです。



我が家のペット
名前は亀二

設計部：伊藤遼河

ワークテスト用ガス式熱風循環炉改良！

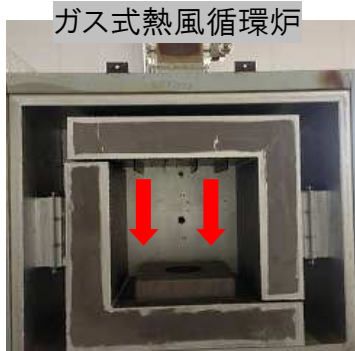
熱処理ワークテストセンター内設備紹介

エコムが運営する熱処理ワークテストセンターでは、アルミ、セラミック、鉄、ガラス等のワークの熱処理・加熱テストを行っております。当センターには遠赤外線式加熱炉、電気ヒータ高温炉、ガス式熱風循環炉、ガス式高温熱風炉があり、毎日のように各種のワークテストを実施しています。この夏、ガス式熱風循環炉のテスト用途を広げるべく改良を行いました。

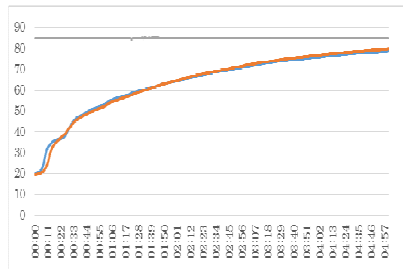
《ガス式熱風循環炉改良内容》

【1】有効容積口700mmを確保し、アップー・ダウン・サイドフローと風向きの変更が容易にできるようになりました。
風速は5~40m/s(可変式)です。

【2】ダクト経路にヒータを導入することで特に低温域にてより精度の高い温度制御が可能となりました。



ガス式熱風循環炉



ワーク 昇温テスト

進化を続けるワークテストセンターへ是非、おこしください。

ダクト補修工事

乾燥炉をご使用のお客様から「炉から煙が出ている」との連絡を受け緊急で現地に出動しました。煙の原因は熱による経年劣化でダクトが破裂し、保温材を過熱していた事によるものでした。ダクトの途中から煙が上がっているとお客様が早目に気づいてくれたので大事に至らずに済みました。普段よりも設備の立上げ時間が掛かり過ぎていた為、炉周りをチェックしたところ煙に気付いたそうです。装置側にも安全装置は取り付けられていましたが、それだけでは判らない部分の日常点検・管理が大事だと感じさせられる出来事でした。少しでも気になる事がありましたら早目にご相談下さい。早期発見・早期修理が重要です。



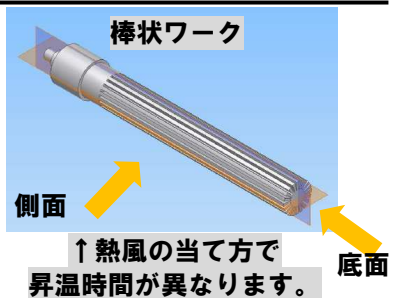
ダクト鋼板が熱の為に變形
熱風漏れ発生！

エネルギー管理士(熱分野):1名合格

「エネルギーの使用の合理化等に関する法律」(通称「省エネ法」)でエネルギー管理士制度が定められています。規定量以上のエネルギーを使用する工場はエネルギー管理士の免状の交付を受けている人の中からエネルギー管理者の選任をしなければなりません。また、エネルギー管理者はエネルギーを消費する設備の維持、使用方法の改善及び監視をおこないます。お客様の様々なニーズにお応えできるよう、エコムでもエネルギー管理士国家資格取得を推進しています。今年も見事1名が合格し、有資格者は5名となりました。

エコムの熱処理ワークテストセンターに来ませんか？

今回のワークテストは「ワークについての水分を短時間で除去したい」という宿題を頂きました。とにかく乾かしたいと、ほぼおまかせの状態で作成をお預かりしました。お客様が検討されていたのは、棒状ワークの底面から熱風をあてる方法でした。テスト機にて、底面と側面から熱風を吹付け昇温時間を比較したところ、側面吹付けの方が約半分の時間になりました。ワーク温度が上がれば当然早く乾燥する事ができ、処理時間が半分になればそれだけ装置(炉長)もコンパクトになります。あとは、製品形状に適した搬送方法の検討等となりますので、設計部門にバトンタッチです。熱のことならエコムにお任せください。(次回に続く)



側面

↑熱風の当て方で
昇温時間が異なります。

底面

アルミ・セラミック等の熱処理条件の問題解決情報サイト

熱技術ニュース

熱処理ワークテスト.com

発行:株式会社エコム

熱処理ワークテスト

検索

URL: <http://www.ecom-jp.co.jp/>

【本社・研究所】

〒431-2103 静岡県浜松市北区新部田 4-5-6

【第三工場】

〒434-0041 静岡県浜松市北区平岡字姥ヶ谷 5281-3

TEL:053-484-1122 FAX:053-484-1124

mail: ecom@ecom-jp.co.jp